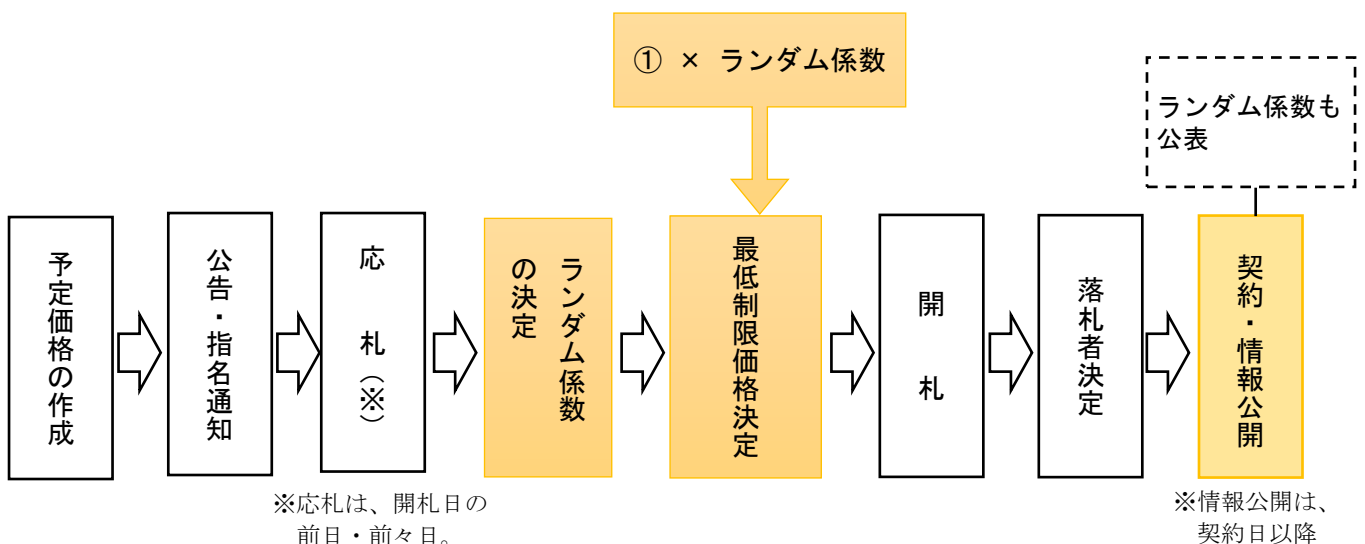


最低制限価格を決定する際のランダム係数の採用について

沼津市

- 1 最低制限価格は、最低制限基本価格にランダム係数を乗じ、予定価格算出の際の消費税及び地方消費税を考慮して得た額とします。
※最低制限基本価格
最新の中央公契連モデルにより算出された額から 1,000 円に満たない数を切り捨てた額
(沼津市建設工事・建設工事関連業務最低制限価格制度実施要領を参照)
- 2 最低制限価格を算出する際、1 円に満たない額は切り捨てます。
- 3 ランダム係数は、「1.0000」から「1.0100」の範囲で 0.0001 刻みの 101 通りとします。
- 4 ランダム係数は、各事業者の応札時間を数値化（例えばある事業者が 12 時 34 分に応札したとすると、「1234」と数値化）し、その合算からランダム係数の通り数である 101 を除することにより、案件ごとに自動的に決定します。なお、応札日や辞退の届け出時間は利用しません。また、紙入札は対象外とします。
(7 参考モデルを参照)
- 5 決定したランダム係数は、入札結果公表時に添付ファイルとして公表します。(契約締結後)
- 6 最低制限価格の決定フロー



7 最低制限価格決定の参考モデル (単純化するために、すべて税抜きとしています)

予 定 価 格 : 39,800,000 円
 最低制限基本価格 : 34,200,000 円
 ランダム係数 : 1.0067
 最低制限価格 : 34,429,140 円

最低制限価格ライン

比較表 単位：円

順位	業者	入札額	応札時間	係数算出用数値	係数決定	結果	
						従前	ランダム係数 1.0067
1	A	33,500,000	12:34	1234	数値合計 : 11,278 ↓ $11,278 \div 101 = 111$ 余り 67 ↓ 余り 0 を 1.0000 とし て、0.0001 刻みの 「1.0067」を採用	失格	失格
2	B	33,900,000	10:09	1009		失格	失格
3	C	34,000,000	8:32	0832		失格	失格
4	D	34,100,000	9:14	0914		失格	失格
5	E	34,150,000	11:30	1130		失格	失格
6	F	34,220,000	12:13	1213		落札	失格
7	G	34,250,000	15:48	1548			失格
8	H	34,450,000	18:20	1820			落札
9	I	39,000,000	06:23	0623			
10	J	42,000,000	09:55	0955			

※辞退届の提出時間は利用しない

予定価格ライン

ランダム係数採用前では、順位6の業者Fが落札するが、ランダム係数採用後では、順位8の業者Hが落札することとなる。

8 ランダム係数は、令和3年4月1日以降に公告または指名する案件から採用します。

沼津市契約検査課
 契約係 工事担当
 T E L : 055-934-4713